



北中 HP へ

## 自ら選び、自ら進む

2月といえば「立春」。暦の上では春の始まりですが、3年生にとってはまさに正念場、進路選択という大きな壁に立ち向かう時期です。不安や緊張もあるでしょうが、これまで積み上げてきた努力は決して裏切りません。自分を信じ、最後まで粘り強く歩みを進めてほしいと願っています。

今年度、折に触れ、「主体性を発揮してほしい」と呼びかけてきました。最近では、清掃活動や行事の運営において、先生達の指示を待たずに自ら判断して動く生徒の姿が随所に見られるようになり、大変心強く感じています。

3年生にとっての進路選択は、まさに「自分の人生を、自分の意思で決める主体性の究極の姿」です。一方で、1・2年生にとっても、2月は現学年のまとめを「誰かに言われてやる」のか、「自分の成長のためにやる」のかが問われる時期です。

「主体性」とは、単に好き勝手に動くことではありません。今の自分に何が必要かを考え、自分なりの目標を立て、たとえ困難があっても実行に移す力です。学校行事や委員会活動の引き継ぎにおいても、前年度をなぞるだけでなく、「自分たちならこうしたい」という一歩踏み込んだ想いを期待しています。

この2月、生徒一人ひとりが「自分という物語の主人公」として、力強く躍動することを願っています。



## 《子ども未来会議》～よりよい学校にするために私たちができること～

1月22日(木)、本校を会場に「境北中地区子ども未来会議」が開催されました。当日は、采女小学校から14名、本校から15名の代表児童生徒が集まり、活発な意見交換が行われました。この会議は、中学校区内の子どもたちが一堂に会し、各校の取り組み(実践発表)を共有するとともに、学校生活や家庭生活をより良くするために「自分たちにできること」や「保護者に見守ってほしいこと」を話し合う場です。



両校による「より良い学校づくり」に向けた1年間の取り組み発表の後、3つのグループに分かれて『より良い学校にするために、私たちにできること ～インターネットの使い方についても考えよう～』をテーマに、話し合いが行われました。自分の意見を書いた付箋を張りながら進めた話し合いでは、「気持ちの良いあいさつをする」「相手の気持ちを考えて行動する」「行事や授業に積極的に参加し、自主性を高める」「インターネットの使い方をあらためて確認し、適切な発言や個人情報の保護ができるようにする」「正しい情報を自分で選ぶ力をつける」など、一人一人が自分のこととして考え、活発に発言する姿が見られました。話し合いの内容は、1月28日(水)の生徒集会(リモート)において、生徒会本部役員から全校生徒に伝えられました。

今回の話し合いをきっかけに、各校での取り組みを一層推進し、地域全体でより良い生活習慣の定着を目指していきます。

